

平成29年度スポーツ庁委託事業

# 長崎県武道等指導充実、資質向上支援事業 事業報告書

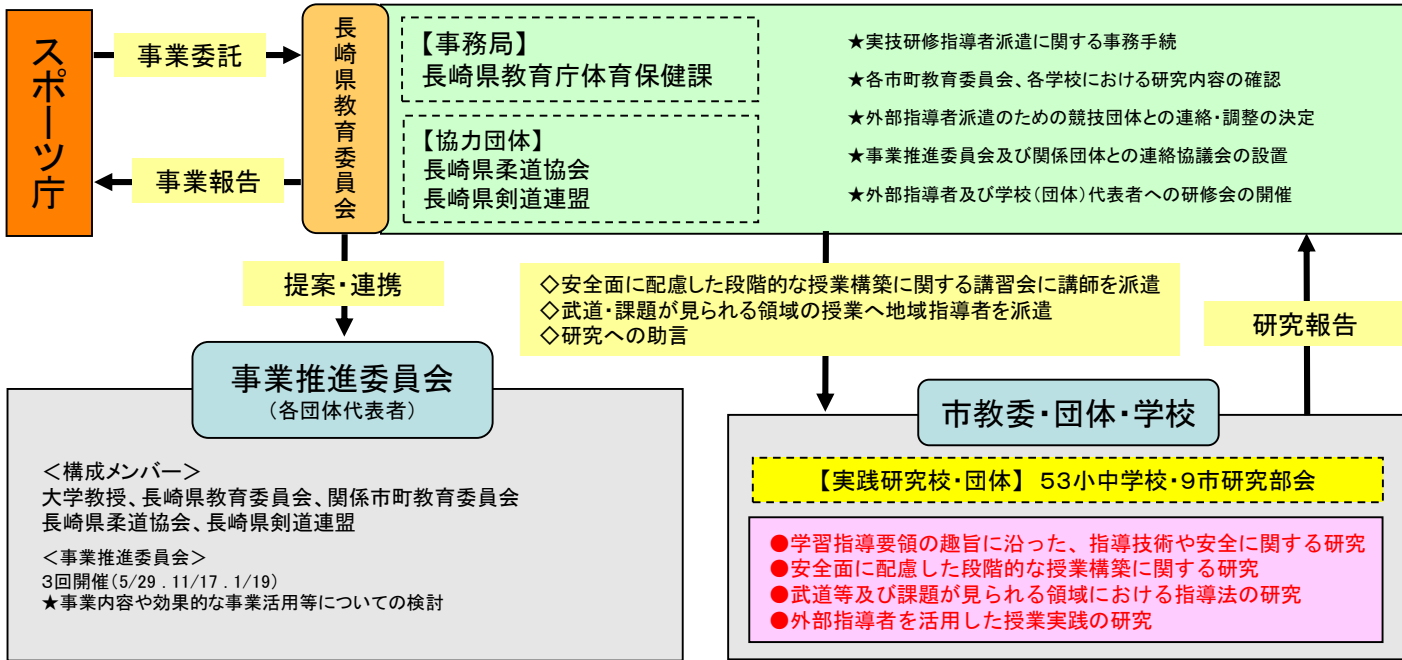


長崎県教育委員会

# 事業の目的

長崎県における武道等の指導の充実及び教員の資質向上・指導力強化を図ることを目的としています。主に中学校武道における発達の段階に応じた安全面に配慮した学習指導の展開と、小学校教員で指導に不安を感じる等の課題が見られる領域について、教員の指導力の向上を図ります。

# 研究組織



# 事業内容 (実践事例)

## ① 実技指導者養成講習会 (安全面に配慮した段階的な授業構築に関する講習会)

指導に不安を感じている教員の指導力向上や資質向上を図る。著名な大学教授等を招聘し、学習指導要領に基づいた安全面に配慮した段階的な指導法について講義と実技を行う。また、県教教育委員会主催の講習会を受講した競技団体の指導者を地域指導者として市町教育委員会主催の講習会の講師として派遣し指導内容の一貫性を図る。

### ダンス

平成29年10月27日(金)  
 講師:長崎大学 助教 河合史奈



最初は緊張していた受講者の皆さんも、最後は思い切りダンスを楽しんでいました！

### 柔道

平成29年12月7日(木)  
 講師:全日本柔道連盟 田中裕之



柔道指導法にとどまらず、人として、教師としての道を示してくださいました。

### 剣道

平成29年12月8日(金)  
 講師:福岡教育大学 准教授 本多壮太郎



剣道具がなくてもできる剣道授業についても教えていただき、大変参考になりました！

## 2 アドバイザー派遣 (市町教委・団体主催による講習会)

- (1) ねらい  
学習指導要領の趣旨に沿い、技術や安全に関する教員向けの研修を実施し、教員の指導力向上と体育授業の改善を図る。
- (2) 派遣対象  
市町教育委員会及び体育科研究会等企画の研修会
- (3) 内容
  - ・授業研究
  - ・学習指導要領の理解
  - ・言語活動の充実 等



▲五島市教育研究会保体部会の様子

【H29派遣実績 9団体 17回開催】

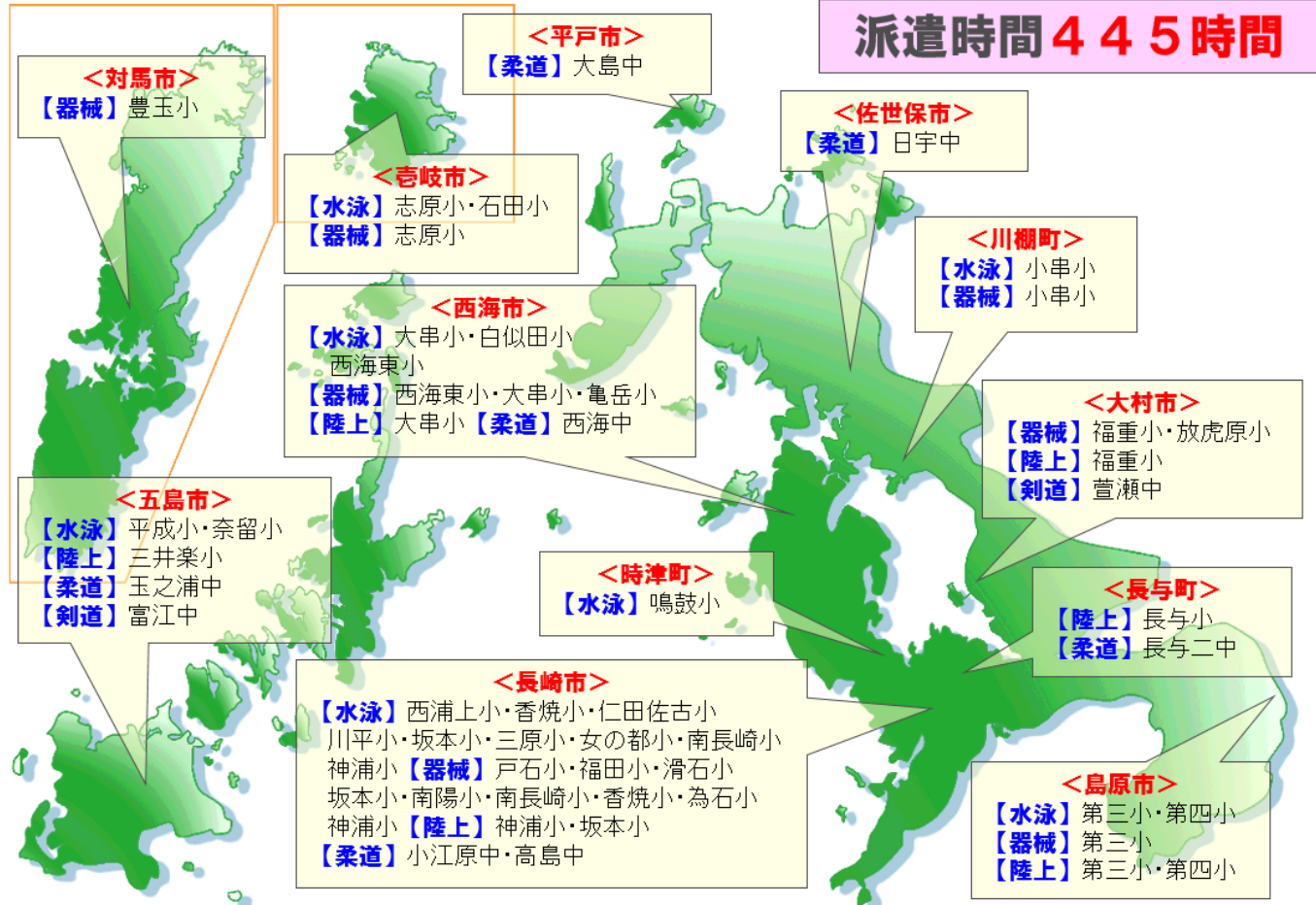
1	長崎県中学校教育研究会保健体育部会
2	諫早市中学校教育研究会保健体育部会
3	島原市小学校教育研究会体育部会
4	諫早市中学校教育研究会保健体育部会
5	壱岐市小・中教育研究会保体部会
6	五島市教育研究会体育部会
7	西海市教育委員会体育部会
8	雲仙市教育研究会保健体育研究部
9	大村市教育研究会保健体育部会

## 3 サポーター派遣 (中学校の武道・小学校の課題が見られる領域の授業協力)

- (1) ねらい  
武道及び課題が見られる領域について、地域指導者（保健体育退職教員や競技団体指導者等）を学校の希望により小学校・中学校の体育授業へ派遣し、保健体育科教員（T1）の計画に基づきT2として運動の示範、安全面に配慮した段階的な指導方法を用いた支援・運動の技能のポイントやコツの例示を行うことで、教員の資質向上・指導力強化を図る。
- (2) 派遣対象及び派遣実績 (中間)  
派遣時間：445時間 (昨年比+84)  
小学校：課題が見られる領域  
(水泳20校、器械運動18校、陸上運動6校)  
中学校：柔道、剣道 (柔道7校、剣道2校)



派遣時間 445時間



## (1) 事業推進委員会

大学教授、各市町教育委員会学校体育主管課担当者、関係団体者代表等からなる推進委員会を設置し、事業内容や効果的な事業活用等について検討するとともに、事業の充実に向けて情報交換、事業成果の県内各学校への普及等を行う。

※ 推進委員20人 年間3回



## (2) 地域指導者の資質向上のための連絡協議会等の開催＜年間計3回＞

地域指導者同士の情報共有や指導力の向上を図るために、連絡協議会を開催する。なお、その際、学習指導要領に沿った学習内容の理解と発達の段階に応じた安全面に配慮した指導方法等専門の講師を招聘した講義・実技も計画する。

# 5 体育学習マイスター研修会（ミドルリーダーの育成）

## (1) ねらい

本県の保健体育科の指導に関する調査では、「保健体育の授業に自信がない」と答える教員が多く、特に武道・ダンスに関しては顕著である。

そこで、各市町教育委員会指導主事及び郡市研究部会代表者を各学校、各地区における保健体育科指導のミドルリーダーとして育成し、体育学習マイスターに認定することで、体育学習の活性化、教員の資質向上・指導力強化を図る。

※ 対象受講者25名 年間2回実施



指導案の見方や指導の仕方について演習を通じて学ぶことができ、体育学習に対して自信がついた。  
【市立中学校教諭】

## (2) 内容

- 1回目：講義「学習指導要領及び同解説の理解、評価」  
演習「指導案の添削について」
- 2回目：講義・演習「指導助言演習」



これまでを振り返ると、授業を見るポイントが分かってなかったことに気付かされます。大変勉強になりました。【市指導主事】

# 児童生徒の声

## ～サポーター派遣事業 児童生徒アンケート集計結果～

### (1) 体を動かすことは好きですか。

	好き 4	3	2	1 嫌い	総計
事前	2005	919	311	91	3326
	60.3%	27.6%	9.4%	2.7%	
	87.9%	12.1%	好き	嫌い	
事後	2029	866	180	44	3119
	65.1%	27.8%	5.8%	1.4%	
	92.8%	7.2%	好き	嫌い	

### (2) 体育の授業は楽しいですか。

	楽しい 4	3	2	1 楽しくない	総計
事前	2105	941	215	65	3326
	63.3%	28.3%	6.5%	2.0%	
	91.6%	8.4%	楽しい	楽しくない	
事後	2200	699	169	50	3118
	70.6%	22.4%	5.4%	1.6%	
	93.0%	7.0%	楽しい	楽しくない	

### (3) 運動のやり方やうまくなる方法を知っていますか。

	知っている 4	3	2	1 知らない	総計
事前	682	1381	891	373	3327
	20.5%	41.5%	26.8%	11.2%	
	62.0%	38.0%	知っている	知らない	
事後	1932	921	198	67	3118
	62.0%	29.5%	6.4%	2.1%	
	91.5%	8.5%	知っている	知らない	

# 成果と課題

全ての項目において派遣後の方が数値が上昇している。特に「**運動のやり方やうまくなる方法を知っている**」については、29.1%も上昇しており、派遣効果があると言える。

## (1) 成果

- ・事業推進委員会において、課題を明らかにし、対策や次年度に向けての方向性を示すことができた。
- ・サポーター活用において、児童生徒が運動のやり方やうまくなる方法を知ることができた。
- ・サポーターの指導方法や児童生徒との関わりを通じて、教師が指導方法を学ぶことができた。
- ・指導に対して苦手意識を持つ教員が、前向きに指導してみようという気持ちを持つことができた。
- ・研修会や授業協力に対して、競技団体の強い理解と協力を得ることができた。
- ・体育学習マイスター研修会を通じて各地区のミドルリーダーの教科指導力の向上を図ることができた。

## (2) 課題と今後に向けて

- ・サポーター派遣は、児童生徒に対する直接的な効果よりも教員の資質向上が主なねらいである。
- ・アドバイザーを活用した市町（団体）主催の研修会を積極的に開催して欲しい。
- ・体育学習マイスター研修会の内容を充実させ、各地区の研究部会等で伝達して欲しい。
- ・女性や運動が苦手な教員を対象とした実技研修会を実施したい。